

コード	201030601
記入日	H24.5.29

課コード	113
課名	環境課
課長名	網田 勝
担当者	平田 竹喜

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	旧ごみ焼却場跡地有効活用事業
----------	----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20103	基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進	目コード	2
事務事業コード	2010306	事務事業名称	旧焼却施設跡地有効活用事業	細目コード	1050
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画 循環型社会形成推進地域計画		法令・条例規則等	廃棄物処理法	

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	旧ごみ焼却施設	(対象指標1)	8施設			
(対象2)	ストックヤード	(対象指標2)	8施設			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・稼働停止となっていた旧ごみ焼却施設8施設を全て解体し、その跡地に海岸等から回収した漂着物を集積・分別・保管する施設（ストックヤード）を新設した。また、その内の3箇所については、ごみ焼却施設から生成される溶融スラグを有効活用するための一時保管施設として新設した。	(平成23年度) →2箇所解体 →2箇所ストックヤード建設  (全体) →海岸漂着物保管ストックヤード 5箇所 →溶融スラグ保管ストックヤード 3箇所	① 解体施設数	8施設	100%	解体施設数÷ 残存施設数	平成23年度
		① 解体施設数	2施設	100%		平成23年度
(達成率分析)		計画どおり進捗した。				
		② ストックヤード建設数	8施設	100%	実建設数÷ 建設予定数	平成23年度
		② ストックヤード建設数	2施設	100%		平成23年度
(達成率分析)		計画どおり進捗した。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・合併前から残存していた旧ごみ焼却施設を解体し、その跡地に環境問題となっていた海岸等の漂流・漂着物を回収して、分別・処理する施設（ストックヤード）を建設することによって、自然環境の美化向上に努める。また、ごみ焼却施設から生成される溶融スラグの一時保管施設を建設することによって、覆土材以外の有効活用を可能にする。		① 進捗率	897,255千円	100%	実施事業費÷ 計画事業費	平成23年度
		① 進捗率	281,207千円	100%		平成23年度
(達成率分析)		計画どおり進捗した。				
(達成率分析)						

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 20 ~ H 23		22年度以前	23年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① 施設	8	8	6	2	2	
	② 施設	8	8	6	2	2	
成果指標	① %	100	100	68.7	31.3	31.3	
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	921,055	921,055	634,248	286,807	286,807	
直接事業費 A	千円	897,255	897,255	616,048	281,207	281,207	
人件費 B	千円	23,800	23,800	18,200	5,600	5,600	
内 訳	従事職員数	人	3.4	3.4	2.6	0.8	0.8
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
の 財 源 内 訳	国補助金	千円	291,678	291,678	198,898	92,780	92,780
	県補助金	千円	48,718	49,718	40,586	8,132	9,132
	起 債	千円	564,600	564,600	385,700	178,900	178,900
	そ の 他	千円					
一般財源	千円	16,059	15,059	9,064	6,995	5,995	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	ダイオキシン類の汚染物が残存したままの施設を使用しなくなったからと言って、残しておくわけにはいかない。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	全ての施設を解体したことによって、汚染物による環境悪化を防ぐことができた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	年2箇所を整備したことによって、短期間で完了することが出来た。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	<p>将来においても再稼働する可能性が低い施設にあっては、周辺の環境悪化にも繋がる恐れがあるため、朽ち果てるままとせず、いち早く解体してしまうことが望ましい。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>合併前から残存していた旧ごみ焼却施設を解体し、その跡地にストックヤードを建設して有効活用を図り、汚染物による環境悪化や自然環境の美化向上に資する事業である。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。